

◆市長賞

作品名 これで安心熊げき退傘

作者 木村 尚太郎さん（合川小6年）



講評：地域の課題に密着した作品となっています。クマの弱点を調べ、傘が開くときの音、シートの模様、へびの3つを一つにまとめるアイデアが素晴らしいです。また、傘を開くことで自分より大きく見せる工夫やへびの模様もよかったです。

◆議長賞

作品名 楽々立っちゃイス

作者 松尾 航佑さん（鷹巣東小5年）

講評：イスから立ち上がるのが苦手な方の気持ちに寄り添った作品です。立つときに力が入りやすいように持ち手の長さを変える工夫がされています。また、背もたれや土台にスポンジを使うことで、座り心地もとてもよく、思いやりにあふれた作品です。



◆教育長賞

作品名 長さバッチリ！カメレオンカッター

作者 米村 海希さん（綴子小6年）

講評：身近にあるセロテープカッターとメジャーを組み合わせたことで、各段と使い勝手がよい作品になりました。カットするテープの長さを測って使うことができ、実用的です。メジャーをカメレオンの舌に見立てたデザインもおもしろいですね。



◆学校教育課長賞

作品名 回転本だな

作者 亀谷 真生さん（合川小4年）

講評：ベアリングではなく、ペットボトルキャップとビー玉を組み合わせてスムーズに回転するように工夫されていて、本の重さにも耐えられる構造になっています。また、段ボールにテープをていねいに巻いて、仕上がりもきれいです。



◆審査委員長賞

作品名 三徳ハンガー

作者 成田 旺右さん（米内沢小6年）

講評：シンプルな作りですが、とても実用的な作品です。普通のハンガーが、タオルを3枚かけられるようになったり、乾きやすいように衣服を広げてかけられるようになったりする工夫が素晴らしいです。操作も簡単で、とても便利です。



アイデア作品で生活を豊かに



▲作品を一つ一つ見て回る児童と家族

▲9月8日に行われた表彰式

発明工夫展は、科学や造形技術に対する関心を高め、創意と工夫の芽を育てるため、市内の児童が夏休みに製作したアイデア作品を募集し開催しているもので、今回は市内の小学校9校から111点の応募があり、そのうち29点が入賞しました。

表彰式では、はじめに佐藤教育長が「皆さんの作品を見せてもらったが、どの作品にも思いが感じられ、夏休み中にとってもよい学習をしたと感じている。自分のできる部分は一人で取り組み、難しいところは家族にアドバイスをもらい、頑張って完成させたことも伝わってきた。他の人の作品を見て学び、さらに来年に繋げてほしい」などとあいさつ。

続いて、さまざまな特許を取得している発明家で、澤田商事の澤田昌治社長が、自らが発明した作品を紹介しながら「皆さんも非常によい作

第14回北秋田市発明工夫展が、9月8日・9日に交流センターで開かれ、ユニークな作品や創造力あふれる作品が展示されました。8日には表彰式が行われ、入賞した子どもたちに表彰状と記念品が手渡されました。

品ができていたので、一つの作品を見直し、さらに改良を進めてほしい」などとアドバイスしました。

この後、表彰が行われ、市長賞、議長賞、教育長賞、学校教育課長賞、審査委員長賞の特別賞5点、金賞8点、銀賞16点の入賞者一人一人に表彰状と記念品が贈られました。

佐々木審査委員長（阿仁合小学校長）は、特別賞を受賞した5人の作品について、審査員からの講評を紹介するとともに「作品を作るとき、どんな工夫をしたらよいか考えたと思う。その考えることが、皆さんが成長するためにも大切なこと。発明工夫は自分のためだけでなく、誰かのためになるものを作ろうという思いから生まれる。そんな思いを大切にして、来年も暮らしを豊かにする多くの作品が出品されることを期待する」などと述べました。

第14回

北秋田市発明工夫展

金賞	
柴田 凌吾さん（米内沢小1年）	関口 仁人さん（米内沢小2年）
藤島 美玲さん（合川小2年）	成田 透理さん（鷹巣小3年）
柏木 一昌さん（鷹巣中央小3年）	戸澤 拓夢さん（鷹巣小5年）
金野 超太さん（鷹巣小6年）	佐藤 伸也さん（綴子小6年）
銀賞	
佐藤 陸さん（鷹巣中央小1年）	岸野 優樹さん（米内沢小1年）
清水 大和さん（綴子小2年）	千葉 琴乃さん（鷹巣中央小2年）
櫻井 萌音さん（合川小2年）	成田 心葉さん（鷹巣小3年）
柴田 零月さん（鷹巣中央小3年）	金野 駿生さん（鷹巣小4年）
伊東 悠輝さん（鷹巣小4年）	岩本 詩音さん（鷹巣南小4年）
齋藤 謙心さん（鷹巣南小4年）	三浦 悠人さん（鷹巣中央小5年）
藤島 蘭斗さん（合川小5年）	三澤 陸人さん（鷹巣小6年）
武藤 羽皇さん（綴子小6年）	成田 悠乃さん（合川小6年）